



Leaf

2005年1月25日発行
盛岡市三本柳6-1-1
盛岡赤十字病院
地域医療連携室
発行責任者 院長 利部 輝雄

盛岡赤十字病院医療連携だより No.5



年頭ご挨拶

あけましておめでとうございます。

皆様にはおすこやかに平成17年の新春をむかえられましたこととお慶び申し上げます。

平成14年8月に開設いたしました盛岡赤十字病院地域医療連携室につきましては、開設以来御支援、御教示賜りましてありがとうございます。厚くお礼申し上げます。

今行われております医療は、個人が対象で、個人の病気のときのみの対応が主となっております。これから私たちの目ざす医療は、病気をもつ人とその家族を含む地域を対象として、病気のときのみではなく健康の維持を目的とした持続的、総合的な地域のチームで取り組むようなかたちになるべきであると考えております。それには、医療をとりまく環境が年ごとにきびしくなる中であって、限られた医療資源を適切有効に活用しなければなりません。対象となる地域の医療機関の強固な連携と機能分担がきわめて重要であります。

医療機能の分化を明らかにして、必要な情報の交換をスムーズに行い、関係者どうしがお互いに本音を話し合える場として、皆様とともに地域の人々の健康を守る場としての病院をめざしたいと考えておりますので、ご利用いただきますようお願い申し上げます。

平成17年1月

院長 利部 輝雄

基本理念

私たちは、人道・博愛の赤十字精神にもとづき、みなさまの生命と健康を守るために、信頼される医療を実践します。

基本方針

『患者様中心の医療』

私たちは、患者さまの権利と意思を尊重し、十分な説明と同意により患者さま中心の医療を目指します。

『良質な医療の提供』

私たちは、常に医療の質の向上と安全な医療の推進に努め、広く医療従事者の育成に貢献します。

『救急医療と災害救護の充実』

私たちは、救急医療と災害救護活動を積極的に進めます。

『地域との連携』

私たちは、急性期治療を中心に行う病院として、地域の医療・保健・福祉施設と緊密に連携し、地域医療の充実に努めます。

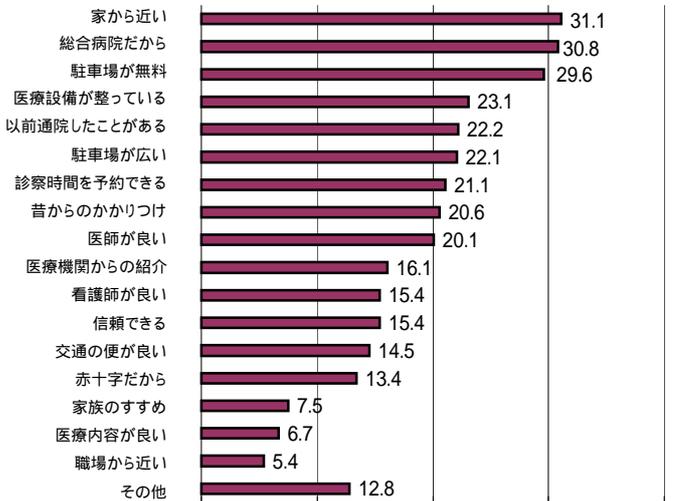
『職員の協調と健全経営』

私たちは、職員の協調と活力ある職場をつくり、経営の健全化により、安定した医療サービスに努めます。

患者様満足度アンケート調査 結果報告

当院の外来診療に来院された患者様にとって、私たちの提供する医療サービスが適切であるか、また、改善すべき点は何かを検討するため、9/13(月)・14(火)の2日にわたって患者様満足度アンケート調査を実施しましたので結果の概略をお知らせします。なお、配布894、回収598、回収率67%でした。入院患者様のアンケート調査は9/15(水)に実施しましたが、紙面の都合で結果は次号でお知らせします。

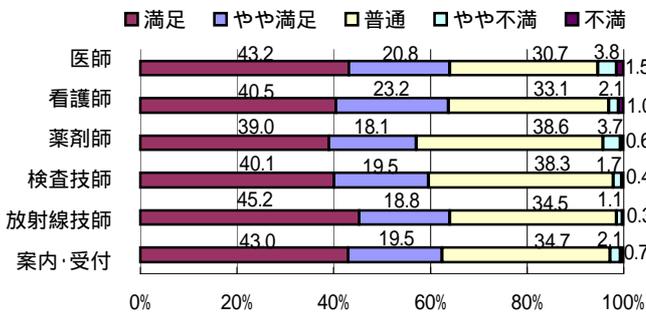
1. 当院を受診された理由(複数回答)



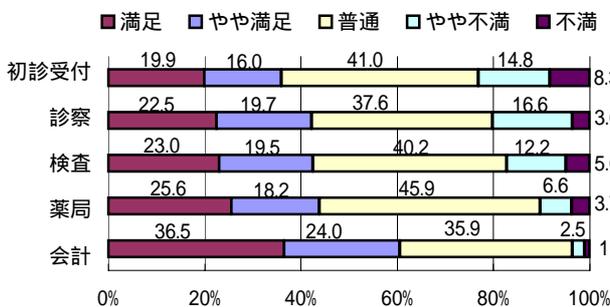
「その他」の内訳

地域で評判が良い(25) 知人の紹介(23)
人間ドックを受けたので(4) 救急車で運ばれた(3) など

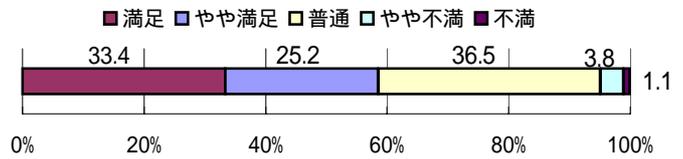
2. 職員の対応についてはいかがですか。



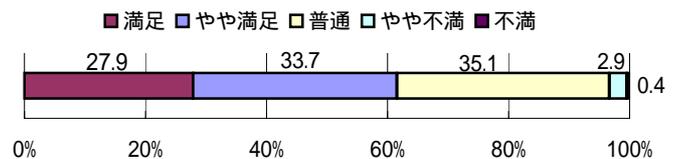
3. 待ち時間についてはいかがですか。



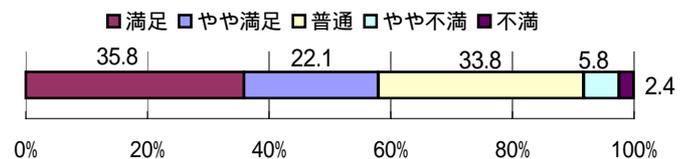
4. 環境・設備についてはいかがですか。



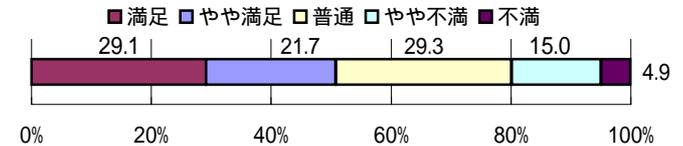
5. 外来全体を通しての感じはいかがですか。



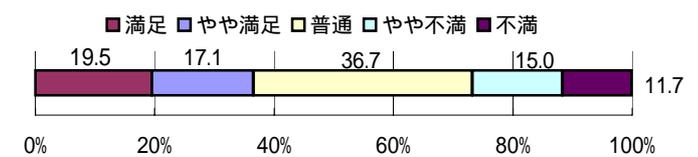
6. 診察時のプライバシーは守られていますか。



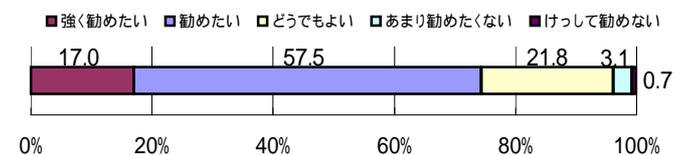
7. 予約時間どおりの診察でしたか。



8. 診察が遅れた場合の説明はいかがですか。



9. 当院を家族や知人に勧めたいと思いますか。



当院を選ばれて受診された理由が、「家から近い - 総合病院」が上位となりました。また、駐車場が無料で広いという特色もあり、地域に密着した病院として評価をいただいているものと思われます。

当院では診察の予約制を取り入れておりますが、設問7にあるとおり予約どおりの時間の診察は約半数にとど

まっております。設問3のとおり待ち時間に対する満足度は低めになっております。さらに、設問8により遅れた場合の説明が十分でないという問題点が明らかになりました。

今後、待ち時間の短縮について、予約の時間配分の見直しを含めて具体的な改善に取り組むこととしております。

新任医師 自己紹介



消化器科
小穴 修平 医師

消化器内科の小穴（こあなではなくおあな）です。平成8年岩手医大卒、大学での専門は消化管でした。平成17年1月より前任の村田望先生の退職に伴い赴任することとなりました。以前は岩手医大付属花巻温泉病院に1年8ヶ月勤務していました。盛岡日赤病院のような急性期疾患の多い病院はしばらくぶり、戸惑うことも多く皆様にご迷惑をお掛けすることも多いかと思いますが宜しくお願い致します。

退職:お世話になりました 12月31日付 消化器科 村田 望 医師

ご案内:参加をお待ちしております

+ 第2回医療安全研修会

平成17年3月4日(金) 17:30~19:00 当院2階 記念講堂
 テーマ:「医療事故とコミュニケーション」
 講師:東京海上日動メディカルサービス(株)
 メディカルリスクマネジメント室 上席研究員 山内 桂子 氏
 第1回医療安全研修会には多くの方にご参加いただきありがとうございました。

+ 盛南地域医療研究会

平成17年3月10日(木) 19:00~ 当院2階 記念講堂
 テーマ:「ターミナルケアについて」

+ 盛南臨床カンファランス

平成17年3月11日(金) 19:00~ 当院2階 会議室

お知らせ

院内での携帯電話の使用の試行を始めました。

当院ではみなさまの希望も多いことから、院内での携帯電話の使用を検討するため、とりあえず1月、2月の2か月間を試行期間として院内において携帯電話をご使用いただいています。院内ではマナーモードにしてください。
 使用禁止区域はマークで示してあります。



連携室からのお願い



紹介いただいた患者様の受診連絡票(FAX)や診療状況報告が届かないときは、連携室へご連絡ください。早急に調査のうえお返事いたします。

新潟県中越地震災害救護活動の報告



倒壊した建物



避難所での診察

昨年10月23日に発生した新潟県中越地方の大震災は、死者40人、負傷者4,500余人、そのほか建物や道路などに甚大な被害を与えました。日本赤十字社では、使命である災害救護活動をいち早く展開し、岩手県支部管内の各施設からも下記のとおり要員を派遣しました。



医療救護班第2班出発



巡回診療出発前の打ち合わせ



避難所:小千谷市総合体育館



「こころのケア」スタッフミーティング

日赤岩手県支部の救護活動

10/28~10/31	日赤現地災害対策本部支援	(日赤岩手県支部事務局 1名)
10/30~11/2	救援物資輸送	(岩手県赤十字血液センター 2名)
11/3~11/5	医療救護班第1班	(盛岡赤十字病院 7名)
11/9~11/12	日赤現地災害対策本部支援	(日赤鷲鳴荘 2名)
11/10~11/14	「こころのケア」スタッフ	(盛岡赤十字病院 1名)
11/19~11/21	医療救護班第2班	(盛岡赤十字病院 7名)

